### 農林水産省告示(重要な形質)の制定について

平成25年1月31日に開催された種苗分科会の答申を踏まえ、平成25年3月7日付け農林水産省告示第525号で平成20年4月1日付け農林水産省告示第534号(種苗法第2条第7項の規定に基づき重要な形質を定める件)の一部を改正し、同年4月1日から施行。

### (参考)

品種登録ホームページ: http://www.hinsyu.maff.go.jp/

<u>+</u>

償

還

期

限

平成二十五年五月二十七日

官

t 払 発 価格競争入札発行 価格競争入札発行 者・第Ⅰ非価格競国債市場特別参加 込 金 額 額 額面金額で五兆二千八百十四億八千万円 額面金額で四千五百八十四億円

争入札発行 者・第I非価格競 国債市場特別参加 低 額 血 金 額

四千五百八十三億千二百四十四万五千六百円

一千八百四億七千七十一万千四百円

九 振 東 位 千万円 振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、 の金額によるものとする。

最低額面金額の整数倍

発 価格競争入札発行 行 格 日 平成二十五年二月二十五日

争入札発行 者・第I非価格競 国債市場特別参加 額面金額百円につき九十九円九十八銭五毛以上のそれぞれの応募価格 額面金額百円につき九十九円九十八銭九毛

償 還 金 ただし、 償還期が銀行休業日に当たるときは、

その翌営業日に償還金を支

元 金支払場所 日本銀行

緍

額面金額百円につき百円

入 払 札 达 参 期 加 日 平成二十五年二月二十五日 財務大臣から通知を受けた者

〇晨林水産省告示第五百二十五号

告示第五百三十四号(種苗法第二条第七項の規定に基づく重要な形質を定める件)の一部を次のよう に改正し、 種苗法 (平成十年法律第八十三号)第二条第七項の規定に基づき、平成二十年四月一日農林水産省 平成二十五年四月一日から施行する。

平成二十五年三月七日

表アレナリア モンタナの項を次のように改める。

農林水産大臣

林

芳正

アレナリア ホンタ 草姿、草丈、株の膩、茎の長さ、茎の大さ、茎のアントシアニン着色。有無、茎の節数、葉の着生角度、葉の長さ、葉の膩、葉の形、花数、7柄の長さ、花型、花弁の向き、花の大きさ、花弁の長さ、花弁の膩、7弁の形、花弁の薫なり、花弁の周縁の波打ちの有無、花弁の表面の色、花の香りの有無、開花の早晩 ら花花

色(一重品種及び半八重品種に限る。)」や伝えて花の芳香の有無」や「花の香りの有無」以おめて 八重品種に限る。)」の外以「、花盤の複色の有無(一重品種及び半八重品種に限る。)、花盤の複色の いおめ、「舌状花の表面の後色の色」の次に「(複色品種に限る。)」を「花盤の主な色(→重品種及び半 表マーガレットの項中 「茎のアントシアニンの着色の有無」 や「茎のアントシアニン着色の有無」 同

第一えい果の基部の毛の長さ、第一えい果の小軸の長さ」や「第一韻果の基部の芒の着生の多少、第 白粉の多少」以「第一えい果の基部ののぎの着生の多少、第一えい果の外えいの長さ、原麦粒の外え の葉しょうの毛の多少、止め葉下の葉身の周縁の毛の多少」以必め「出穂期」の次は「、茎の数」 熟期の内粒の外えいの白粉の多少」を「包濃の白粉の多少、 云文「茎の最上節の毛の粗密」や「茎の最上節の毛の多少」以「えいの白粉の多少、えいの長さ、 表えん表の項中「最下位媒の禁しょうの毛の組密、止め媒下の葉身の周縁の毛の組密」を「最下位媒 |領果の基部の毛の多少、第一額果の基部の毛の長さ、第一額果の小穂軸の長さ」以的な「まき性」 顯果の外顯の長さ、原麦粒の外顯の色、第一顯果の外顯後部の毛の有無(白、 第一えい果の外えい後部の毛の有無(白、黄色種を除く。)、第一えい果の基部の毛の粗密、 干粒重、冠さび病斑抗狂」を加え、 同表プーゲンビレアの項を次のように改める。 包頴の長さ、乳熟期の第一頴果の外頴の 黄色種を除く。)、 舵 描 を

ブーゲンビレア 横淡、分枝性、新しょうの色、節間長、刺の有無、刺の長さ、刺の潜曲の強弱、葉身の長さ、葉身の画、葉身の形、葉身の基部の形、葉身の主な色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色、葉身の二次色の分布、葉身の同縁の波打ちの強弱、珠苑の長さ、花房の花序の分布、花房の花序の数、花房の花序の姿を皮、花房の花序の分布、花房の花序の数、花房の花序の姿を皮、花房の花序の姿を皮、だっの長さ、はうの風、ほうの形。ほうの基部の形、ボースの大幅の形、ボースの長さ、ほうの風、ほうの形。ほうの基部の形、ボースの大面の主な色、若いほうの内面の主な色(がく裂片が関いた時)、如はこの分面の主な色(がく裂けが関いた時)、大いほうの内面の主な色(花房のほうの型が八重の品種に限る。)、だいほうの内面の主な色(花房のほうの型が八重の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色の分布(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色の分布(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、だいほうの内面の三次色の分布(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、だいほうの内面の三次色の分布(がく裂片が関いた時)(3色以上の品種に限る。)、だいるの一般になる。

表ブラキスコメの項の次に次のように加える。

ブリグハミアシガニス イソ 草丈、株の幅、茎の基部の大さ、茎の色、葉の長さ、葉の先端の形、葉縁の反りの強弱、葉の緑色の濃淡、部の長さ、花筒部の色、花冠裂片の長さ、花冠裂片のに記裂片表面の色 、葉の幅、葉の形、 、花冠の直径、花筒 の幅、花冠裂片の形、

表茶の項を次のように改める。

採

打ちの強弱、薬の周縁部の縁歯の強弱、薬身の基部の形、開花期、花柄の長さ、がくの外面の毛じの有無、がくの外面のアントシアニン着色の有無、花の直径、内花弁の色、子房の毛じの有無、子房の毛じの細密、花柱の長さ、花柱の分岐点の位置、雄ずいに対する柱頭の位置、発酵性、カフェイン含量 

表カンナの項を次のように改める。

カンナ 開花始期の草丈、草姿、葉身の長さ、葉身の層、葉身の光沢、葉脈の色、葉身の主な色、葉身の二次色の猿様(葉、葉身の二次色の猿様(葉、葉身の二次色の猿様(葉、葉身の二次色の衣を(花板を除く)、葉に対する花序の位置、花序の)を(花板を除く)、仮様すいの伝わらの独野、たりの重なり、仮様すいの伝の「第一花を除く」)仮様すいの反りの独野、仮様ずいの波打ちの強弱、仮雄ずいの地色、仮様ずいのばかしの色、仮様ざいの炎光模様の色、仮雄ずいの斑点の色、仮雄ずいの周縁部の色、雄ヹいの炎光模様の色、仮雄ずいの斑点の色、仮雄ずいの周縁部の色、雄ヹいの炎光模様の色、仮雄ずいの斑点の色、仮雄ずいの周縁部の色、 官

表シクラメンの項の次に次のように加える。	ケレウス	表介ラトスティクマーヴィ
のように加える。	株の高さ、株の幅、分枝の多少、分枝の型、茎の主な色、茎の斑の有無、茎の斑の色(斑のある品種に限る。)、綾のおれの有無、刺座の間隔、刺座の直径、刺座の形、刺座の色、刺の有無、刺の数、刺の長さ、刺の硬さ、刺の基部の色、刺の先端の色	表クラトスラーグマーヴェルモッティアヌム(るりま)りもどき)の項の次に次のように加える。

したが、ひへ Ωŧ 分検性、茎の長さ、節間長、茎のアントシアニン着色、葉身の長さ、葉身の編、葉身の厚さ、葉身の表面の緑色の濃淡(単色品種に限る。)、葉身の表面の主次色(複色品種に限る。)、葉身の表面の二次色(複色品種に限る。)、葉身の表面の三次色(複色品種に限る。)、葉身の内部の形、葉身の月間の三次色(複色品面に限る。)、葉身の内部の形、花葉身の月間の一角の有無、花石の縦径、下唇井の中央裂片の岩坑色、下唇井の基部の突起の色、上唇井の条線の有無、上唇弁の条線の色、脂の色、開花始期

褐斑の大きさ」 たの果実に対する大きさ」や ⑪ の表面の三次色の型(3色以上の品種に限る。)」におめ、同素かやの項中「かき」を「かきのき」と、 表面の二次色の型、 色以上の品種に限る。)、舌状花の表面の二次色の型(2色以上の品種に限る。)、 状花に対する副弁の長さ」以「舌状花の表面の二次色、 果頂の溝の明瞭・度、 (3色以上の品種に限る。)、 表ダリアの項中「辮馬の鰯間の傾角」を 果肉の硬さ」を伝え、「果肉の褐路の有無、 や「舌状花の表面の二次色(2色以上の品種に限る。)、舌状花の表面の二次色の分布位置(2 以「果実の渋味」 舌状花の表面の三次色、 。 果頂の条紋の明瞭 度」や「果頂の溝の明瞭度、果頂の条紋の明瞭度」以「へ 「果実に対するへたの大きさ」におめ、「果皮の色」。の次に「、果肉の粗 舌状花の表面の三次色の分布位置(3色以上の品種に限る。)、舌状花 を「甘滋性、既然の難帰」に改め、 「葉の葉脈の凹凸」以「副弁の頭花に対する長さ」 舌状花の表面の三次色の分布位置、舌状花の表面の三次 果肉の褐斑の大きさ」 舌状花の表面の二次色の分布位置、 同表そば及びファツヘデラの項 や「果肉の褐斑の有無、果肉の 舌状花の表面の三次 舌状花の を

を次のように改める。 ئىر س

倍数性、子葉のアントシアニン着色の強弱、茎のアントシアニン着色の強弱、花芽のアントシアニン着色の強弱、伸音性、草丈、葉身の基部の形、葉の緑色の濃淡、花の大きさ、花弁の色、小花筋の長さ、花房の数、分枝の数、茎の長さ、茎の節数、茎の直径、子実の長さ、子葉の長幅に子実の形、乳敷後期の果皮の色、完敷始の果皮の色、丸抜きの色、干粒重、容積重、子実の外観品質、生態型、開花始期、開花最盛期、成熟期、面倒伏性、糖発芽性、脱粒性、ルチン含量

ファッヘデラ 品種に限る。)、 茎の長さ、茎の太さ、分核性、節間長、茎の色、葉の形、葉の切れ込みの数、葉の切れ込みの深さ、葉の基部裂片全体の形、葉の側裂片全体の形、葉の頂裂片全体の形、葉の頂裂片全体の形、葉の側裂片光端の形、葉の頂裂片光端の形、葉の基部の形、葉の周縁の形、葉のよいれの強弱、葉の周縁の波打ちの強弱、葉身の長さ、葉身の幅、葉の厚さ、新葉の表面の色、葉の表面の (斑のある品種に限る。)、葉の斑の二次色 )斑の色の変化性 |無、葉柄の長さ、 葉の裏面の色、 葉の斑の色数 (斑のある品種に限る。)、 、葉柄の上面の色、葉柄の 媒脈の色、 (斑のある品種に限る。)、 葉の斑の有無、 (斑のある品種に限る。)、 葉の光沢の強弱、葉の毛の )下面の色、葉柄の毛の有無 葉の斑の模様(斑のある 葉の斑の主な色 蒸

9

ティンガタイプ、 プの品種に限る。)」や「球葉数(カッティングタイプ、ステムタイプの品種を除く。)、総採葉数(カッ 結球品種に限る。)」以、「球薬数(カッティングタイプの品種を除く。)、総採薬数(カッティングタイ 表レタスの項中 メデトダイプの部舗で冠め。)」に改め、同表ゆりの項を次のように改める。 「球葉のかぶりの強弱(結球する品種に限る。)」や の迷の割合(斑のある品種に限る。)、葉の斑の色(斑のある品種に限る。)、葉のアントシアニン着色の強弱、葉のアントシアニン着色の分布、葉のアントシアニン着色の強弱、花柄のアントシアニン着色の分布、近端の一次の場では、上井の場では、上井の場で、大田の町時度、花柱の色、花米の色、花色の変化 「球葉のかぶりの強弱(半結球、

₹ 2 花族片の幅、花族片の舶法組織の強弱、花族片の周縁の波打ちの強弱、花族片の周縁の波打ちの型、花波片の外反の強弱、花被片の中央部の主花色、花練片の基部の主な色、花練片の外反の強弱、花被片の中央部の主な色、花練片の基部の主な色、花練片の変調に接する部分の色、花装片の光端部分の主な色、花被片の影響部の主な色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、花被片の影響の色、雄ずいの長、江野点の範囲の大きさ、花珠片の乳頭突起又は斑点の数、花被片の乳頭突起又は斑点の数、花被片の乳頭突起又は斑点の色、雄ずいの長さ、花糸の主な色、やくの色、花粉の色、花柱の主な色、柱頭の色、開花期 幅、葉の斑の有無、葉の表面の光沢の強弱、葉の横断面の形、つぼみの主な色、花序の型、花序の花数、花序の毛の強弱、花型、花被の向き(小花柄を除く。)、花被の形(小花柄を除く。)、花被片の長さ、 茎のアントシアニン着色の強弱、 葉の数、 葉の長さ

表リナリアの項の次に次のように加える。

やがらん (斑のある品種に限る。)、葉の表面の斑の分布(斑のある品種に限る)、花茎の長さ、花茎の色、葉に対する花序の位置、花序の形、花序の長さ、花序の偏、花序の花の粗密、小花柄の長さ、つぼみの色、花板片の表面の色、開花始期 曲の強弱、 媒群の高さ、 葉の緑色の濃淡、 茶の幅、 葉の長さ、葉の幅、 葉の表面の斑の有無、 媒の先端の形、 葉の表面の斑の色 操の外

表ロマンドラ

ロンギフォリアの項を次のように改める。

ロマンドラフォリア ロソギ | 草姿, 葉の斑の有無、葉のろう質の強弱、葉の硬さ、葉の横断面の形、葉の先端の中央突起の位置、葉の基部の縁の褐色の濃淡、花序の長さ、花穂の位置、花柄の色、花穂の長さ、ほう葉の長さ、がくの色、花冠の色 葉部の高さ、葉群の粗密、 葉の長さ、 媒の編、 葉の緑色の濃淡、

表アセロラの項を次のように改める。

アセロ

樹姿、樹勢、枝の発生密度、節間長、枝の太さ、新しょうの毛じの粗密、葉身の長さ、葉身の長さ/幅、葉身の最大幅の位置、葉身の周縁の波打ちの強弱、葉身の用縁の波打ちの強弱、薬身の用縁の形、葉身の表面の締色の遺迹、やくに対する柱野の位置、花柱の湾曲、花井の周縁の近灯がらの強弱、たけの桃色の遺迹、果実の長さ、果実の開、来疾の長さ、原打ちの音さ、果実の形、果実の条づの深さ、果頂部のくぼみの深さ、東頂部のくぼみのない。果実の変は、東方の毎、果実の形、果皮の糸溝の深さ、東頂部のくぼみの深さ、果頂部のくばみのでは、東方の海の深さ、東方の頃、東柄の長さ、果皮の主な色、果肉の色、果実の酸味、果汁の多少、核の大きさ、核の褐色の濃淡

表やまももそうの項を次のように改める。

|草丈、株幅、草 |葉の着生位層、 |福、葉の長さ/ 媒の斑の有無、 草丈/株幅、茎の短密、花数、茎の傾き、分枝数、葉数、1、新しょうのアントシアニン着色の強弱、葉の長さ、葉の1、/幅、葉の最大幅の位置、葉の周縁の波打ちの強弱、葉の 葉の斑の分布 (斑のある品種に限る。)、 帐

	<u> </u>	TX	(ケバカ 40 ケ)	10
* ^ * ^	表輝の頃中「しょう葉のアントシアは、「初期の外額キールのアントシアはの強弱」は、「徳の主軸の湾曲の程度」と着色の強弱」を「後期の外額のキーがあ品種に限る。)」を至り、「勝玄米の現(酒米品種に限る。)」とおめ、「グバスやくの頃を次のようはおめる。	乗りようらい	いばなの項の	表ストックの項の次に
はう芽期、芽の形、芽の色、草型、草丈、茎の数、茎の大さ、節間長、分枝の多少、茎葉の毛の多少、葉の大ささ、複葉の形、頂小葉の形、葉の緑色の濃淡、葉縁の波打ちの有無、葉の光沢の強弱、葉の厚さ、葉の緑色の濃淡、葉縁の波打ちの有無、葉の光沢の強弱、葉の厚さ、葉の垂れ、抽だいの難易。薬用品種に限る。、花首の長さ、花で、花で、地でいる。 では、一葉の一般の一般の一般の一般では、一葉の一般の一点で、花の形、内弁の色(鈴味品種に限る。)、花井数(一重・金)、花井の底がしの有無、花井の紋りの多少、枯りた端の形、柱頭の色、花井の隔、雄しべの多少、雄しべの多少、雌じべの多少、雌じゃの長さ、花井の隔、雄しべの多少、雄しべの多少、雌じゃの長さ、花井の隔、雄しべの多少、雌じゃの多少、間花期、枯れ上がり期(薬用品種に限る。)、乾燥根の重量(薬用品種に限る。)、乾燥根の重動(薬用品種に限る。)、大井の毛、茶頭の色(薬用品種に限る。)、大井の毛、茶頭の色(薬用品種に限る。)、大井の毛、茶頭の色(薬用品種に限る。)、大井の白、茶面の色(薬用品種に限る。)、大井の白、木口の毛、水田の白、水田の白、水田の白、水田の白、水田の白、水田の白、水田の白、水田の白	根郷の呼中「しょう葉のアントシアニンの着色の強弱」や「しょう葉のアントシアニン着色の強弱」以「初期の外額キールのアントシアニン着色の強弱」や「初期の外額カールのアントシアニン着色の強弱」や「初期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」は「徳の主軸の湾曲の程度」や「穂の主軸の湾曲度」以「後期の外額キールのアントシアニン着色の強弱」や「後期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」や「後期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」や「後期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」や「後期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」や「後期の外額のキールのアントシアニン着色の強弱」や「物文米の心白の発現の程度(西米品種に限る。)」はおめ「グルテリン含量」の次は「、カドミウム吸収性」を長え、回搬しゃくやくの質を次のようにおおる。	「大きないようはおもれ。」 「中文、基のアントシアニン着色の強弱、基の毛の基部のアントシアニン 着色の有無、基の毛の基部のアントシアニン着色の強弱、ロゼット薬の 長さ、ロゼット薬の高、ロゼット薬の緑色の濃淡、ロゼット薬の 大き、ロゼット薬の局、ロゼット薬の緑色の濃淡、ロゼット薬の 薬身の形、薬縁の形、薬縁の切れ込みの深さ、薬の緑色の濃淡、栗の斑 の有無、薬の斑の濃漆(斑のある品種に限る。)、花らいの大きさ、花りのアントンアニン特色の有無、花の大きさ、花りの有無、木分のた場 が成がの水が、水の水が、水の水が、水の水が、水が、水がのボットシアニン特色の有無、たの大きさ、花井のも無、花井の地 地色の変化の有無、柱頭の位置、花糸の色、花弁のしぼんだ時の 地色の変化の有無、柱頭の位置、花糸の色、花弁の足が、岩く果のアントシアニン潜色の有無、た糸の色、花弁のしぼんだ時の いのアントンアニン潜色の有無、た糸の色、花弁のしぼんだ時の 地色の変化の有無、柱頭の位置、花糸の色、花弁の足が、岩く黒のアントシアニン潜色の有無、	種に限る。)、無身の表面の斑の模様(斑のある品種に 種に限る。)、無身の表面の斑の模様(斑のある品種に さ、 の高さ、基の数、稈の長さ、節数、葉しょうのアント 頭、葉身の形、葉身の反りの位置、葉身の斑所面の形、 の幅、葉身の表面の緑色の濃淡、葉身の斑の有無、葉 のある品種に限る。)、葉身の斑の色(斑のある品種に の割合(斑のある品種に限る。)、中間の色、糖の形、 次枝梗の数、糖の一次枝梗の長さ、小穂の長さ(毛、 の毛の長さ、小穂の毛の色、ほう顔の色、光の有無、	クの項の次に次のように記える。 樹姿、枝の長さ、枝の木さ、葉身の長さ、葉身の属、葉身の厚さ、葉身の形、葉身の先端の形、葉身の基部の形、葉身の高端の形、葉身の横弯面の形。 が葉の表面の光 が葉の表面の光 が葉の表面の光 の色(塔のおる品種に限る。)、 が葉の表面の光の存ま、 密葉のある品種に の名)、 古典の非面の土から 、 新葉の表面の光の では、 一個名)、 古典の非面の土が 、
次の表しよす		() に、そを() に、) 限目 際の をく、 できる そく、 なる そく かいかい かん なん なん なん なん なん しょう	♥ 9 表 <sup>実</sup> マップで、表	

「Cケッ州リ | 藤地 | 藤山の根/藤

横型、横冠の形、横高、 東当たりの計模の数、変 先端の屈曲の有無、針葉 の主な色、針葉の扱の有 で変化、銀元の色、 様の死の型(斑のある品 節変化、雄花の色、雌花 の色、種子の長さ、種子 の長さ、種類の色		がまり
枝の大さ、枝の着生角度、枝の着生密展 十葉の長さ、針葉の幅、針葉の先端の形、 ものねじれの多少、針葉の曲りの強弱、金 手無、針葉の掛の色(斑のある品種に限る 計種に限る。)針葉の冬の主な色、針葉の の角、球果の長さ、	``	
	の弦の型(斑のある品種に限る。)、針葉の冬の主な色、針葉の変化、雄花の色、雌花の色、球果の長さ、球果の幅、球果の形色、種子の長さ、種子の長さ、種子の偏、種子の形、種子の色、種子に対す長さ、種翼の色	型、樹冠の形、樹高、枝の太さ、枝の着生角度、枝の着生密度当たりの針葉の数、針葉の長さ、針葉の輻、針葉の先端の形、端の屈曲の有無、針葉のねじれの多少、針葉の曲りの強弱、金主な色、針葉の斑の有無、針葉の斑の白(斑のある品種に限る

表ピティロディアーテルミナリスの項を次のように改める。

	,			すもも (日本すもも)を除く。)	
六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあっては接ぎ木の難易、 実生のそろい、栄養繁殖の難易、接ぎ木後の樹勢、台木の根の発育、 両干性及び耐湿性	五 開花期、発芽期、落葉期、成熟期、結果性、果実の着色の難易、生理落果の多少、裂果性、病害抵抗性及び虫害抵抗性	四 果形、果実の大きさ、果皮の色、果粉の多少、果肉の色、肉質、果汁の多少、甘味、酸味、渋味、苦味、香気、核と果肉の粘腫、核の形、核の大きさ、核の色及び核の紋	三 花形、花の大きさ、花弁の形、花弁の大きさ、花弁の色、花弁の数、雌ずいの数、雄ずいの健否、雄ずいの白、花粉の多少、がく筒内壁の色、がくの形、がくの色及び花柄の長さ	<ul><li>一 樹姿、樹の大きさ及び樹勢</li><li>二 枝しょうの太さ、節間長、枝しょうの色、芽の形、葉形、葉の毛じの多少、葉の大きさ、葉色及び蜜腺の形</li></ul>	

次のように加える。 表すももの項中「今みみ」を「田村今みみ」に改め、同表はなかんざし(ローダンセ)の項の次に表すももの項中「今みみ」を「田村今みか」に改め、同表はなかんざし(ローダンセ)の項の次に

	ローダンセマム
帰、薬の色、薬片の鴨、薬の表面 花盤の主な色、舌状花の向き、舌 大花の痛、舌状花の表面の主 子状花の幅、舌状花の表面の主 種に限る。)、舌状花の裏面の主な種に限る。)、舌状花の裏面の主な、 種にいる。)、花粉の有無、開花始期	型、草丈、株の幅、蓋の太さ、節間長、節数、一次分枝の数、葉の

官

# 表ロードヒポクシスの項の次に次のように加える。

## 表セルリアの項を次のように改める。

をルリア 樹姿、樹高、樹の橋、葉の着年密度、木質塊基の有無、葉の向き、葉の 着生角度(常に直立する葉を除く。)、葉の長さ、葉の羽状欠刻の強弱、 葉の製片の原さ、葉の色(アントシアニンを除く。)、葉の毛の強弱、葉 変の製片の見さ、葉の色(アントシアニンを除く。)、葉の毛の強弱、葉 関花枝の当な色、関花枝の分枝の、関花枝の大さ、関花枝の毛の強弱、 関花枝の上な色、関花枝の方様。関花のよくと、関花枝の子に 有無、頭花のよく発達した綾ほう片の類、総ほう片の長さ、総ほう片の 橋、総ほう片の長さ、一名選に「大綾にう片の数」、総ほう片の地色、 う片の中部の色、小花房の食べ、小花の方端の形、小花 ほちの中部の色、小花の一種、、小花のの長さ、小花のつぼみの 先端部の毛の強弱、小花のつ気がの長さ、小花のつぼみの た端部の毛の強弱、小花のつ気があり、一花のつ にみの先端部の下の花被の色、開花期

(ティテ、 ゟピーノ及び延れいしょを除く。)の項中「タチサイ(ティテ及び延れいしょを除く。)の項中「タチサイ(ティテ及びばれいしょを除く。)の項中「タチサイ(ティテ及び延れいしょを除く。)の項中「タチサイ

ペピー/ 草丈、茎のアントシアニン着色の強弱、茎の毛の有無、葉の型、葉の長さ、葉の幅、葉身の形、葉身の緑色の濃淡、一花序の花の数、花の道径、花の表面の主な色、花の表面の一次色(綾色品種に限る。)、天熟果の果長の色、果実の便な、果実の直径、果実の長さ、足乳果の果実の地色、果実の存場の形、一大きの大きさ、成熟果の果実の地色、果実の全体に占める条斑の割合、果実の条斑の色、果肉の色、果肉の硬さ、果実の可溶性固形物含量、収穫期

## 表トレニアの項を次のように改める。

下レニア 草姿、草丈、株の幅、葉柄の長さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の周縁の切れ込みの深さ、葉身の斑の有無、花序の腋花の有無、がく裂片の数、花の長さ、花筒の長さ、花筒の長崎の色、花筒の内側の色、花筒の内側の条線の過程、花筒の内側の差部の色、花石裂片の間縁の切れ込みの強弱、北元裂片の色の分布の型、上部花石裂片の流打ちの強弱、上部花石裂片の長端の色、上部花石裂片の大端部の色、上部花石裂片の大端部の色、上部花石裂片の大端部の色、下部花石裂片の大端部の色、下部花石裂片の大端部の色、下部花石裂片の大端

# 表ゆうぎりそうの項の次に次のように加える。

でいかかずら 樹型、樹高、樹帽、葉身の形、葉身の先端の形、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の毛の有無、新葉のアントシアニン着色の強弱、葉身の緑色の濃淡、葉身の光沢の有無、葉身の周縁の波打ちの強弱、葉身の斑の有無、葉身の斑の直は色(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の真体(斑のある品種に限る。)、花冠製片の向き、花の直径、花の直径、花の高さ、花冠製片の表面の主な色、花の香りの有無、開花の早晩

多少」に、 に改める。 毛の多少、 直部の 炭、 度」や「穂首直下の節間の髄の厚さ」以「穂軸の先端凸部表面の毛の強弱、外鏡の肩部の幅、外鏡の の白粉の強弱」以「釋の止葉下の白粉の強弱」や「糖首の白粉の強弱」以「糖首直下の節間の髓の程 以、「止葉の葉しょうの白粉の強弱、止葉の白粉の強弱」や「止め葉の葉しょうの白粉の強弱、 「雑が住」 護頴の肩部の幅、 外頭の喉の長さ、外頭の喉の形、 を 「無き角」に、「かの面」を「暮の面」に改め、 護骥の肩部の形、 外額の内側の毛じの粗密」や「穂軸の先端凸部表面の 護額の嘴の長さ、 護題の階の形、 同表フリーセアの項を次のよう 護頴の内側の毛の 止め薬

**崧小麦の齊中「反曲した止葉を持つ個体の出現頻度」を「反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度」** 

### フリーセア

### 〇国土交通省告示第二百十六号

平成二十五年三月七日平成二十五年三月七日の第四十六条の規定に基づき、次のとおり告示する。

国土交通大臣

太田

昭宏

一 航空灯火の種類及び名称 飛行場灯火 枕崎飛行場照明施設設置者の氏名及び住所 枕崎市 鹿児島県枕崎市千代田町二十七番地

航空灯火の位置及び所在地
枕崎飛行場内
鹿児島県枕崎市

供用廃止の予定期日 平成二十五年三月三十一日

### 〇国土交通省告示第二百十七号

平成二十五年三月七日

国土交通大臣 太田 昭宏

- 設置者の氏名及び住所 枕崎市 鹿児島県枕崎市千代田町二十七番地
- 供用廃止の予定期日 平成二十五年三月三十一日空港の名称及び位置 枕崎飛行場 鹿児島県枕崎市